



2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年10月30日

上場取引所 東

上場会社名 神戸電鉄株式会社

コード番号 9046 URL <https://www.shintetsu.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 寺田 信彦

問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部 部長 (氏名) 坂本 義之 TEL 078-576-8671

四半期報告書提出予定日 2023年11月10日 配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無：有

四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第2四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	10,924	5.7	1,157	21.9	922	24.3	754	28.2
2023年3月期第2四半期	10,337	4.0	949	51.4	742	96.8	588	109.3

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 943百万円 (62.6%) 2023年3月期第2四半期 580百万円 (129.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	93.94	-
2023年3月期第2四半期	73.22	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第2四半期	89,301	22,185	24.8
2023年3月期	90,804	21,243	23.4

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 22,185百万円 2023年3月期 21,243百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	-	0.00	-	0.00	0.00
2024年3月期	-	0.00	-	-	-
2024年3月期(予想)	-	-	-	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	22,130	3.8	1,510	8.6	1,000	0.2	700	3.6	87.11

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期2Q	8,061,566株	2023年3月期	8,061,566株
② 期末自己株式数	2024年3月期2Q	26,340株	2023年3月期	25,598株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期2Q	8,035,616株	2023年3月期2Q	8,036,810株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。業績予想に関する事項については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（決算補足説明資料の入手方法について）

決算補足説明資料はTDnetで同日開示するとともに、当社ホームページにも掲載することとしています。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルスの感染症法上の位置づけが5類に移行されるなど、社会経済活動の正常化が進み、景気がゆるやかに回復しているものの、不安定な国際情勢によりエネルギー価格及び原材料価格が高止まりするなど、先行きに不透明感が続く状況で推移しました。

この間、当社グループにおいては、各部門において増収やコストの削減に努めた結果、当第2四半期連結累計期間の業績は次のとおりとなりました。

すなわち、営業収益は10,924百万円となり前年同期に比べ587百万円(5.7%)増加、営業利益は1,157百万円となり前年同期に比べ208百万円(21.9%)増加、経常利益は922百万円となり前年同期に比べ180百万円(24.3%)増加、親会社株主に帰属する四半期純利益は754百万円となり前年同期に比べ166百万円(28.2%)増加しました。

当第2四半期連結累計期間のセグメント別の概況は次のとおりであります。

運 輸 業

鉄道事業においては、「安全の絶対確保」を図るため、安全管理体制のさらなる整備・充実に取り組んだほか、「鉄道軌道安全輸送設備等整備事業」等の補助を活用しながら、軌道の強化等の工事を推し進め、運転保安度の一層の向上に努めました。また、2023年4月から導入した「鉄道駅バリアフリー料金制度」により、バリアフリー施設の整備を着実に推進するとともに、引き続き安心・安全・快適な鉄道を目指してまいります。

営業活動については、JRグループ6社や地元自治体等が、全国から兵庫県への誘客を目的として開催する「兵庫デスティネーションキャンペーン」における特別企画として、鈴蘭台車両工場において、旅行会社と連携した工場見学及び車両撮影ツアーを実施しました。また、「鉄道開業95周年」を記念して、デビュー50周年を迎える3000系車両に当時のカラーリングを再現したメモリアルトレインの運行等を実施し、神鉄ファンの獲得に努めました。

神戸市との連携事業である「神鉄沿線モヨウガエ」及び「KOBÉ Rail&Trail」では、地域との交流を通じた駅周辺の活性化や、当社沿線の魅力発信に努めました。引き続き地域の皆様や沿線自治体と連携したプロジェクトを推進しながら鉄道の利用促進に取り組んでまいります。

バス事業においては、企業や学校の貸切送迎業務をはじめ積極的な営業活動を展開し、増収に努めました。

タクシー業においては、乗務員の採用に注力するとともに、2023年5月に運賃改定を実施するなど、収益の拡大に努めました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の運輸業の営業収益は6,575百万円となり、前年同期に比べ471百万円(7.7%)増加し、営業利益は686百万円となり、前年同期に比べ216百万円(46.0%)増加しました。

不 動 産 業

土地建物賃貸業においては、2022年9月に取得した新規物件(兵庫県伊丹市)が収益に寄与したほか、既存物件へのテナント誘致に努めました。

また、土地建物販売業においては、神戸市北区の販売土地を売却しました。

なお、神戸市及び神戸市道路公社から管理運営業務を受託している「神戸市立三宮駐車場(神戸市中央区)」他5施設について、円滑な運営に努めております。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の不動産業の営業収益は1,011百万円となり、前年同期に比べ29百万円(3.0%)増加し、営業利益は430百万円となり、前年同期に比べ21百万円(4.7%)減少しました。

流 通 業

食品スーパー業においては、青果部門を中心とした生鮮部門の品揃えを強化するなど、販売促進策を各店舗で積極的に展開しました。また、2023年5月からの創立50周年記念セールをはじめ地域物産フェア等の集客策を実施するとともに、移動スーパー「とくし丸」の顧客開拓を精力的に行うなど、収益の拡大に努めました。

コンビニ業及び飲食業においては、各店舗で増収に努めました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の流通業の営業収益は2,570百万円となり、前年同期に比べ128百万円(5.2%)増加し、営業利益は31百万円(前年同期は営業損失24百万円)となりました。

そ の 他

保育事業及び健康事業においては、駅に近接する各施設の強みを活かしてご利用者の増に努めました。
建設業においては、当社グループ外からの受注拡大に努めましたものの、完成工事高は減少いたしました。
これらの結果、当第2四半期連結累計期間のその他の営業収益は1,336百万円となり、前年同期に比べ70百万円(5.0%)減少し、営業損失は4百万円(前年同期は営業利益38百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、流動資産が減少したこと等により前連結会計年度末に比べ1,503百万円減少の89,301百万円となりました。

当第2四半期連結会計期間末の負債は、買掛金及び借入金が増加したこと等により前連結会計年度末に比べ2,444百万円増加の67,116百万円となりました。

当第2四半期連結会計期間末の純資産は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上に伴い、利益剰余金が増加したこと等により前連結会計年度末に比べ942百万円増加の22,185百万円となり、自己資本比率は24.8%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、運輸業においてコロナ禍からの相応の回復が見られることや、流通業も増収基調で推移していることなどから、2023年5月12日に公表いたしました業績予想を変更しております。

2024年3月期の通期連結業績予想

(単位：百万円、単位未満切捨て)

	営業収益	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益
今回発表予想	22,130	1,510	1,000	700
前回発表予想	22,100	1,430	870	620
増減額	30	80	130	80
増減率(%)	0.1	5.6	14.9	12.9

なお、上記の業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果になる可能性があります。

配当につきましては、当社は、経営課題であります財務体質の強化に努めることを最優先課題として、長らく無配を継続してまいりましたが、不動産事業やグループ事業の強化などにより、コロナ禍においても、利益剰余金、自己資本比率などが着実に増加・向上してまいりました。

そのような状況下において、運輸業においてもコロナ禍からの相応の回復が見られることから、今般、2024年3月期の連結業績予想など今後の経営見通しを総合的に勘案しました結果、期末配当予想を無配から1株当たり10円配当へと修正いたします。

2024年3月期以降につきましても安定した継続的な配当に努めてまいります。

※「2024年3月期 期末配当予想の修正(復配)に関するお知らせ」に併せて公表いたしております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,443	1,579
売掛金	1,097	1,181
短期貸付金	66	58
販売土地及び建物	274	234
商品	123	121
貯蔵品	418	454
その他	2,246	1,222
流動資産合計	5,670	4,854
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	40,523	39,975
機械装置及び運搬具(純額)	5,121	4,877
土地	34,912	34,913
建設仮勘定	126	129
その他(純額)	546	513
有形固定資産合計	81,230	80,408
無形固定資産		
その他	576	540
無形固定資産合計	576	540
投資その他の資産		
投資有価証券	1,217	1,410
長期貸付金	285	247
退職給付に係る資産	1,405	1,439
その他	435	418
貸倒引当金	△17	△17
投資その他の資産合計	3,326	3,499
固定資産合計	85,133	84,447
資産合計	90,804	89,301
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,206	920
短期借入金	18,463	18,284
未払法人税等	130	194
前受金	819	961
賞与引当金	51	64
その他	3,012	3,142
流動負債合計	24,683	23,567
固定負債		
長期借入金	38,686	37,556
繰延税金負債	224	288
再評価に係る繰延税金負債	3,471	3,471
退職給付に係る負債	112	112
長期末払金	773	579
長期預り保証金	933	927
その他	676	611
固定負債合計	44,877	43,548
負債合計	69,560	67,116

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,710	11,710
利益剰余金	7,650	8,405
自己株式	△91	△93
株主資本合計	19,270	20,022
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	333	531
繰延ヘッジ損益	0	0
土地再評価差額金	1,503	1,503
退職給付に係る調整累計額	136	128
その他の包括利益累計額合計	1,973	2,162
純資産合計	21,243	22,185
負債純資産合計	90,804	89,301

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
営業収益	10,337	10,924
営業費		
運輸業等営業費及び売上原価	8,125	8,478
販売費及び一般管理費	1,263	1,288
営業費合計	9,388	9,767
営業利益	949	1,157
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	18	20
受取損害賠償金	—	17
雑収入	103	27
営業外収益合計	122	66
営業外費用		
支払利息	280	283
雑支出	48	17
営業外費用合計	329	300
経常利益	742	922
特別利益		
工事負担金等受入額	12	118
特別利益合計	12	118
特別損失		
工事負担金等圧縮額	12	118
特別損失合計	12	118
税金等調整前四半期純利益	742	922
法人税、住民税及び事業税	122	146
法人税等調整額	31	21
法人税等合計	153	167
四半期純利益	588	754
親会社株主に帰属する四半期純利益	588	754

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	588	754
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3	197
繰延ヘッジ損益	△0	△0
退職給付に係る調整額	△10	△8
その他の包括利益合計	△7	189
四半期包括利益	580	943
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	580	943
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

セグメント情報

I 前第2四半期連結累計期間（自 2022年4月1日 至 2022年9月30日）

報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	運輸業	不動産業	流通業	計				
営業収益								
(1) 外部顧客への営業収益	6,095	879	2,437	9,412	925	10,337	—	10,337
(2) セグメント間の内部営業収益 又は振替高	9	103	5	117	481	599	△599	—
計	6,104	982	2,442	9,530	1,406	10,937	△599	10,337
セグメント利益又は損失 (△)	470	451	△24	897	38	935	13	949

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、保育事業及び健康事業並びに建設業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額13百万円は、主にセグメント間取引であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間（自 2023年4月1日 至 2023年9月30日）

報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	運輸業	不動産業	流通業	計				
営業収益								
(1) 外部顧客への営業収益	6,566	922	2,564	10,053	871	10,924	—	10,924
(2) セグメント間の内部営業収益 又は振替高	9	89	6	104	464	569	△569	—
計	6,575	1,011	2,570	10,158	1,336	11,494	△569	10,924
セグメント利益又は損失 (△)	686	430	31	1,148	△4	1,143	13	1,157

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、保育事業及び健康事業並びに建設業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額13百万円は、主にセグメント間取引であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。